

## WSJ 新企画デジタルインタラクティブ記事

### 「Breaking Ball—野球の栄光求める父子の挑戦」がスタート！

日本の現役高校球児のプロへの挑戦をウォール・ストリート・ジャーナルが追跡取材  
日本従来 of 厳しい練習方法に問題提起

ウォール・ストリート・ジャーナル(WSJ)は、英語と日本語による新しいデジタルインタラクティブ記事ページ([wsj.com/baseball/jp](http://wsj.com/baseball/jp))を開設し、日本のトップクラスの高校球児が甲子園そしてプロ野球を目指す姿を追跡取材します。激しい競争が繰り広げられている日本の高校野球を取り巻く現状をレポートしていきます。

この「Breaking Ball(ブレーキング・ボール)父と子の栄光へのピッチング」と題された記事では、高校野球のスターとして注目を集め始めた立田将太投手(奈良県立大和広陵高校)がケガを避けるため日本野球界に根強く残る自己犠牲を強いる考え方とぶつかり合いながら、日本のプロ野球を目指す挑戦を迫ります。記事では、世界トップレベルの選手を生み出している一方で、若い投手に大きな負担を掛け故障の原因となりがちと、米国の野球関係者から疑問も投げ掛けられている、日本従来 of 厳しい練習にもフォーカスを当てています。



日本で毎年開催されるビッグスポーツイベントのひとつ、「甲子園(全国高等学校野球選手権大会)」は世界最大の高校野球大会であり、また何百万人もの日本人がテレビ中継を通じて観戦する大会です。勝利を収めた投手は日本のプロリーグ入りがぐっと近づき、いずれメジャーリーグに進むチャンスともなり得ます。

この記事では、イチロー(ニューヨーク・ヤンキース)、黒田博樹(ニューヨーク・ヤンキース)、松坂大輔(ニューヨーク・メッツ)の日本人現役メジャーリーグ(MLB)プレイヤーに加え、長谷川滋利(元アナハイム・エンゼルス)、吉井理人(元ニューヨーク・メッツ)、および小宮山悟(元ニューヨーク・メッツ)を含む元メジャーリーガーへのインタビューを行い、日本の野球文化の下での自らの経験や、チームのために自らを犠牲にする日本の考え方や価値観についても取り上げます。

「Breaking Ball(ブレーキング・ボール)」は、WSJ の新しい、読者の心を惹き付けるデジタルインタラクティブシリーズの注目記事のひとつとして、ビデオドキュメンタリー、試合中の立田投手のスローモーション動画、投球によってどのように肘への傷害が発生し得るかをアニメーション化した動画、プロ野球カードに登場するような現役および元日本人 MLB プレイヤーたちのプロフィール、MLB の現役日本人

# THE WALL STREET JOURNAL.

スター選手たちと日本の厳しい練習方法に対する選手たちのコメントを捉えたスライドショーなどを通じて今までなかったダイナミックな視聴体験を読者に提供していきます。

WSJ アジア担当エディターのポール・ベケットは「WSJ」のライフスタイル関連記事は、取材範囲を拡大し、日本で最も人気のあるスポーツと世界的にもユニークなそのトレーニング方法を、このようにダイナミックな双方向メディアで読者に届けられることを嬉しく思います。香港支局が先に制作した長編ドキュメンタリーを含むインタラクティブプロジェクトの『九龍城砦』は、3つの言語で300万回を超えて視聴される大成功を収めました。これに続き今回の新しいエキサイティングなスタイルの記事をさらに多くのアジアや世界の読者に届けられることを楽しみにしています」と述べています。

「Breaking Ball(ブレーキング・ボール)」では「夏の甲子園」の予選として今月行われる全国高等学校野球選手権の奈良大会を通じて立田投手とそのチーム取材し、またその後のチームの勝ち上がり状況も引き続き記事にしていくことを予定しています。



この記事の英語版は [wsj.com/baseball](https://wsj.com/baseball) から、日本語版は [jp.wsj.com](https://jp.wsj.com) にて世界に向けて発信され、また@WSJAsia、[Instagram](https://www.instagram.com/wsjasia)、および [Facebook](https://www.facebook.com/wsjasia) でもフォローすることができます。WSJ 会員読者は立田投手の歩みを伝えるメールアラートとコンテンツにも登録可能です。

## ウォール・ストリート・ジャーナルについて

ウォール・ストリート・ジャーナル(WSJ)は世界で220万人以上の購読者を持つアメリカ有数の新聞メディアです。近年、WSJは従来から定評のある金融経済記事に加え、アート、文化、ライフスタイル、スポーツ、健康関連の記事発信を強化しています。発行元のダウ・ジョーンズは、世界有数のニュースプロバイダーで、80以上の支局に約2,000人の記者を擁し、またWSJは、新聞、ウェブサイト、雑誌、ソーシャルメディア、ビデオなど9つの言語で12のエディションを展開。読者に質の高いコンテンツを提供しています。WSJ はこれまで35 回のピューリッツァー賞を受賞しています。

WSJ日本版は、2009年のサイトローンチ以来、WSJの質の高いグローバルおよび日本の、金融経済の動向や分析記事を日本語で一部有料で提供しています。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

ダウ・ジョーンズ・ジャパン広報代理 プラップジャパン:蔵持・住川

TEL: 03-4580-9105 Email:[a-kuramochi@prap.co.jp](mailto:a-kuramochi@prap.co.jp)/[t-sumikawa@prap.co.jp](mailto:t-sumikawa@prap.co.jp)